



聞いて、考えを深めよう（6年生）

小学部6年生が、国語科「聞いて、考えを深めよう」の単元でインタビュー調査を行いました。

児童たちは、日頃から感じている「JSBのよさ」をさらに深掘りすることを目指しました。事前に「誰に聞けば効果的か」「どのような内容なら深く魅力を引き出せるか」を十分に計画して本番に臨んでいます。

児童が捉えたJSBのよさは、「フランス語が学べる」「カリヨンが流れる」「現地校との交流がある」など多岐にわたります。インタビューの成果は今後詳しくまとめられます。

「よく知っている人に話を聞く」というアプローチは、物事を深く理解する上で非常に有効であり、大人になっても役立つ大切な学びです。



サマースクールに向けて（小4・5）

「みんなで元気に みんなで楽しく みんなで成長 ワクワク サマースクール！」

これは、6月25日（木）から1泊2日で行われる小学部サマースクールのスローガンです。実行委員会の子どもたちが中心となり、みんなの想いを込めて作りました。

このスローガンを形にするために、5月21日（木）に特別な時間を過ごしました。4年生と5年生が合同でランチをいただき、続く昼休みもそれぞれの班に分かれて元気いっぱいに遊んだのです。



いつもの教室を飛び出して食べるランチは、まるで小さなピクニックのよう。子どもたちの顔は、自然と素敵な笑顔に変わっていました。

サマースクール本番に向けて、これから様々な取り組みがスタートします。事前の準備や活動を通して、学年を超えた絆をじっくりと「築き上げ」、最高の思い出となるサマースクールをみんなで作り上げていってほしいと思います。

ソーラン練習中（中学部）

運動会や現地校交流、そしてオメガングで踊る「ソーラン」の練習が、いよいよ保健体育の「ダンス」として始まりました。迫力ある踊りを楽しみにしています。Let's Dance!



【特集】ベルリン修学旅行（中3）

5月20日（水）から22日（金）までの2泊3日、中学部3年生がドイツの首都ベルリンへ修学旅行に行ってきました。今回の旅には、2つの大きなねらいがあります。1つ目は、ベルリンの歴史を五感で感じることで、平和への学びを深め、自らの生き方を考えること。2つ目は、集団生活を通して自己を高めることです。生徒たちが過ごした充実の3日間を、写真と解説で振り返ります。

<第1日目(5月20日)>

📍 サンスーシ公園での記念撮影

ブランデンブルク州の州都ポツダム市に広がるサンスーシ公園。その一番奥に佇むサンスーシ宮殿は、豪華なロココ様式が美しい建物です。今回はこの宮殿の内部には入らず、バロック様式の「新宮殿」を訪れました。

噴水の向こうには、名物の6段に重なる美しいブドウ畑が見えます。



あいにくの天気のため、本来の鮮やかな黄緑色をお見せできないのが少し残念ですね。

📍 ザクセンハウゼン強制収容所

ベルリン北部にあるこの場所は、ナチス・ドイツが初期に設置した強制収容所の一つです。今回の訪問でも、ブランデンブルク記念館財団の厳しい研修と試験をクリアした、高い専門性をもつ公認ガイドさんに案内をお願いしました。

📍 夕食の様子



充実した楽しい修学旅行ですが、さすがに1日の日程が終わると、みんなの顔に疲れがのぞいています。出発が早かったこともあり、2日目のプログラムに向けて、夜はしっかり食べて早めに就寝します！

<第2日目(5月21日)>

📍 ベルリンの壁記念館

ベルリンの壁記念館の展望台から、当時の位置にそのまま残された本物の壁を見えています。かつて私たちがいるこちら側が西ベルリン、壁の向こう側が東ベルリンでした。地面の随所には「出来事のマーカ―」と呼ばれる円形

の金属プレートが埋め込まれています。そこには犠牲者の名前や日付、「Flucht（逃亡）」の文字が刻まれており、まさにその場所で命がけの亡命劇や悲劇があったことを生々しく伝えています。

📍 シルクドソレイユ鑑賞

昨年度から大きく変わった点です。昨年まではベルリンフィル交響楽団の鑑賞でしたが、シルクドソレイユの希望多数により、今年は正装の機会がなくなりました。



<第3日目(5月22日)>

📍 空港での解散

3日目はイーストサイドギャラリーを見学し、いよいよ帰路につきました。3日間ずっと私たちを支えてくれた添乗員さんにお礼を伝え、空港で解散となりました。

